

一生忘れることのない  
ひと夏の思い出

第3回



寺子屋つばさ

100km徒歩の旅

# 学生スタッフ募集!!

学生スタッフの方々には、小学生が4泊5日で100kmを歩くための、あらゆる面でのサポートをお願いしています。

寺子屋つばさ100km徒歩の旅は  
青少年育成事業です

## 事業概要

事業名	寺子屋つばさ100km徒歩の旅
主催者	社団法人 燕三条青年会議所
後援	三条市、三条市教育委員会、燕市、燕市教育委員会 弥彦村、弥彦村教育委員会、全国100km徒歩の旅推進協議会 (平成21年度実績、平成22年度予定)
実施日	平成22年8月7日(土)～11日(水) 4泊5日
コース(予定)	下田地区 → 三条地区 → 栄地区 → 燕地区 → 分水地区 → 弥彦村
内容	100km徒歩の旅に参加する小学生のサポート・生活支援全般
対象者	専門学校生・短大生・大学生・他【約25名】
会費	5,000円(食費、施設利用費及び保険料等含む)

## お申込方法

インターネットに接続可能な携帯電話もしくはパソコンにて、下記ホームページよりお申し込み下さい。面接及び説明会、スタッフ研修会等が事前に行われますので、こちらからご案内致します。

お申込締切 **平成22年5月28日(金)**

★お申し込みは随時お受け致します。 ★定員になり次第締め切らせていただきます。

説明会  
随時開催  
詳しくは下記  
WEBサイトまで!!

子供たちの「生きる力」を育てよう!  
研修を受講して自分自身も成長!  
就活にも役立つ!

QRコードで簡単!  
携帯からアクセス



<http://www.tsubamesanjo-jc.or.jp>  
[jimukyoku@tsubamesanjo-JC.or.jp](mailto:jimukyoku@tsubamesanjo-JC.or.jp)

社団法人 燕三条青年会議所  
〒955-0092 三条市須頃1-20 三条商工会議所内  
TEL 0256-32-5151 FAX 0256-32-5343

燕三条JC

検索





# 一生の宝物探しの旅へ出かけよう!!

## 寺子屋つばさ100km徒歩の旅へ学生の皆さん力をかけてください!

この事業は、燕三条地区・弥彦地区の名所を巡りながら、100kmの道のりを4泊5日かけて歩こうというものです。100kmを歩きぬくという未踏の課題を通じて、子どもたちに「やればなんでもできる!」という自信、達成感を持ってもらい、将来どんな難関や困難にも立ち向かえる人になってほしいという目的をもった事業です。また一緒に歩く仲間や学生スタッフを通じて、子どもたちのコミュニケーション能力の向上も図ります。

5日間という期間は決して長くはありませんが、いろんな課題に参加者みんなで取り組むことで、その5日間は長い人生においてかけがえのない思い出となり、そこでの経験は子どもたちだけでなく全ての参加者にとって、将来さまざまな場面で役に立つ貴重な財産となるでしょう。ぜひ多くの学生さんたちに経験してほしいと考えています。皆様のご参加をお待ちしています。



## 学生体験コメント

第2回寺子屋つばさ「100km徒歩の旅」に参加した学生スタッフのコメントです。

### ■ Aさん(女性)

この100kmの中でコミュニケーションの大切さを知りました。コミュニケーションをとっているからこそ、問題点に気づき、自分では対処できないことを改善でき次へつなげられることを、多くの関わった人達と話を学ぶことができました。これからもこの経験を忘れることなく、次なる行動や日常生活に役に立てていきたいと思えます。

### ■ Bさん(女性)

100km徒歩の旅が始まる前の研修会は回数も多く、とても長く感じました。しかし、本番の5日間は毎日濃いもので、あっという間でした。私は普段から小学生と触れあう機会がなく、正直どうやって接すればよいのか?どんな話をしたら仲良くなれるのか等、不安なことばかりでした。ホームシックで泣いてしまう子や何でも我慢してしまう子等、一人一人問題はありましたが、短期間で「やればできる」を学んでくれて本当にうれしかった。最後に「厳しく叱ってくれてありがとう」と伝えてくれた子ども達の素直な気持ちにとっても感動しました。

### ■ Cさん(男性)

最初は軽い気持ちで参加しました。でも説明会や研修会を重ねるたびに団長や実行委員長の熱意が伝わってきて真剣に頑張っていくという思いになりました。説明会や研修会では学校と違う雰囲気の中で、沢山の学びを得ることができました。この100kmの中で学んだ「積極的な姿勢」を生かし、夢に向かってがんばります。

### ■ Dさん(女性)

今までの参加してきたボランティアで積み上げてきた自信が崩れ去り、不安が大きくなって行きましたが、この辛い経験があったからこそ感動できました。子ども達が持っている力に触れ、その素晴らしさをリアルに感じる事が出来て自分の価値観が広がりました。



地元の新聞に記事が掲載されました。

▲三條新聞  
2009年8月20日  
▼新潟日報  
2009年8月25日

## こんな学生さん集まれ!!

- 夢や希望が持てずに悩んでいる人
- 何事にもやる気が出ずに悩んでいる人
- 夢や希望に満ちあふれ、どうしようもない人
- 私が日本を元気にしちゃおう!!と感じている人

